

まち・ひと・いのち創生シンポジウム／第9回どこでも My カルテ研究会
～地域視点・患者視点で新技術が医療・介護の未来を創る～

日時：2014年12月6日（土）13:00～17:30

場所：AP 東京丸の内 会場 E F G

（千代田区丸の内1-1-3 日本生命丸の内ガーデンタワー3階）

主催：医療構想フォーラム・どこでも My カルテ研究会

共催：医療構想・千葉 <http://iryokoso-chiba.org/>

NPO法人医療福祉ネットワーク千葉 <http://www.medicalwel.com/>

一般社団法人フューチャー・ラボ <http://futurelab.or.jp/>

2010年7月に始まったどこでもMyカルテ研究会は8回を重ねました。この4年間でどこでもMyカルテはもはや現実のものとなりました。医療や福祉とICTを結ぶ技術開発や実践研究を中心とした「どこでもMyカルテ」というネーミングは「どこでも」というユビキタス性+「My」という市民主体性+「カルテ」という医療健康情報統合、を併せ持ったものでとても好評でした。

これからも、どこでもMyカルテに代表される私たちの実践は、医療から介護、地域へ、ICTからロボティクス、IoT/OtoOへとますます広がる予定です。どこでもという空間に時間軸を加え、Myという主体に地域社会を追加し、カルテという情報に実践的技術を実装して、さらに関連フィールドを拡大すべく、この研究会を「医療構想フォーラム」に発展改組します。

新しい体制での第1回シンポジウムは「まち・ひと・いのち創生シンポジウム」と題してII部構成とし、これらの幅広い課題の解決に向けて、本フォーラムの発展の方向性を探ります。第I部ではコミュニティヘルスについて、理念と実践の両面から展望します。第II部ではヘルスケアをIT×ロボティクスの実践的観点から考察します。

■プログラム

総合司会：工藤憲一（野村総合研究所）

開会：「どこでも My カルテ研究会」から「まち・ひと・いのち創生」へ

増山茂（医療構想フォーラム 発起人、東京医科大学 兼任教授）

第Ⅰ部：コミュニティ・ヘルスと地方創生

～ヘルスケアの主体は医療機関から患者・地域へ～（13:10～16:15）

座長：増山茂（東京医科大学 兼任教授）

溝尾朗（JCHO 東京新宿メディカルセンター 地域連携・総合相談センター長）

1. 地域包括ケアの全国展開にむけて（仮題）（13:10～13:45）
穂坂邦夫（NPO 法人 日本自立政策研究所 理事長、前志木市長）
2. コミュニティヘルスとプラットフォーム（13:45～14:20）
秋山美紀（慶應義塾大学 准教授）
3. 地域包括ケアシステムにおけるイノベーション（14:20～14:55）
岡本茂雄（セントケア・ホールディング 執行役員）
4. 共同ディスカッション（14:55～15:15）

第Ⅱ部：ICT とロボットが変える医療・介護の未来

～知性をもった ICT/ロボットのインパクト～（15:20～17:20）

座長：田口空一郎（フューチャー・ラボ 代表）

野田啓一（慶應義塾大学 SFC 研究所、ヘルスメディア 代表）

1. ロボットが拓くリハビリテーションの未来（15:20～15:55）
才藤栄一（藤田保健衛生大学副学長）
2. User-Generated Health 2.0（仮題）（15:55～16:30）
山寺 純（Eyes, Japan CEO）
3. 共同ディスカッション（16:30～16:50）
コメント：野口聡（経済産業省）
4. ロボット紹介（17:00～17:20）
PARO（大和ハウス工業）（調整中）
palro（富士ソフト）

総括：医療構想フォーラムの展開に向けて

溝尾朗（JCHO 東京新宿メディカルセンター 地域連携・総合相談センター長）

閉会挨拶

■会費：一般 3,000 円、学生 1,500 円

参加希望者は、氏名・所属・連絡先・懇親会出席有無を明記して以下までお申し込みください。

dokodemomyrecord@gmail.com

■懇親会 12月6日(土) 17:30～会場選定中 5,000円

懇親会挨拶：竜崇正（医療・福祉ネットワーク千葉）（調整中）

※懇親会場にて、ロボットのデモを予定しています。

研究会のご出席連絡の際に、併せてお申し込みください。